

令和3年度広島県立呉特別支援学校センターだより



カメラリア Camellia

第2号
令和3年6月8日発行

—カメラリアは、ツバキ科の植物の総称です。呉市民の花はつばきであり、本校校歌の歌詞にも含まれています。—

梅雨も中休みとなったのか、気持ちのよい天気が続いています。

令和3年6月18日(金)に令和3年度広島県立呉特別支援学校オープンスクールを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症対策に係る緊急事態宣言が令和3年6月20日(日)まで延長されるため中止となりました。オープンスクールで説明予定だった学校の様子や授業内容等については、皆様に周知する方法を検討して、後日改めてお知らせいたします。

今回の通信は、「問題行動に対する対応の見直し」を行うときの考え方について紹介します。

問題行動に対する対応の見直しについて

新学期から2か月が経ち、子供たちは学校に慣れてきた反面、問題行動や課題も見られるようになってきたのではないのでしょうか。問題行動や課題について対応を行っていても、減らなかつたり、変わらなかつたりするのは、問題行動の原因が十分に把握できていないことが1つの原因と考えられます。その場合は、改めて対応について見直すことが必要です。そこで、応用行動分析のABC分析について紹介します。

【ABC分析】

ABC分析は、問題行動や課題となる行動の前後について、「(A) 先行刺激」、「(B) 行動」、「(C) 後続刺激」に分けて分析します。

(A) 先行刺激



(B) 行動



(C) 後続刺激

次のような事例で考えてみましょう。

特別支援学校小学部3年生のA君は、先生から指示された課題に10分程度なら取り組むことができますが、度々、離席してしまいます。A君は、離席して教室をウロウロすることもあるので、その時は担任の先生が追いかけて対応しています。



この事例では、A君は離席をすることで、課題をしなくてもよくなると「誤学習」をしたのかもしれない。課題をすることがA君にとって嫌な事であれば、離席することで嫌な事がなくなるので、離席が益々増加すると予想されます。そして、離席する理由として、課題がA君にとって難しいことが考えられます。また、離席してウロウロするA君は、先生の気を引きたいのかもしれない。先生がA君を追いかけてしまうと、A君の希望通りになるので、この行動も益々増加してしまうことが予想されます。

今後の対応として、まず、A君に「先生、一緒にしてください。」と先生に伝えることを教えます。A君が自分から先生に伝えられたときは、先生と一緒に課題を行います。課題ができたときには、先生はA君をしっかり褒めます。離席ではない方法で先生に関わってもらえ、課題ができることで先生から褒められるので、A君は先生へお願いする発言が増加し、課題を最後まで取り組むことができます。離席してウロウロする場合は、先生は追いかけて、冷静にA君へ席に戻るよう指示します。A君は、先生に期待する行動が得られないので、最初は離席する行動が一時的に増加しますが、先生から追いかけてもらえない状況が続けば、次第に離席することが減ると考えられます。

対応前

(A) 先行刺激	(B) 行動	(C) 後続刺激
課題に取り組む	離席する	課題をしなくてもよい
		先生が追いかけてくる

嫌なことがなくなるので、(B)は増加

対応後

(A) 先行刺激	(B) 行動	(C) 後続刺激
課題に取り組む	「先生、一緒にしてください」と言う	課題を先生と一緒に行って、先生から褒めてもらえる
課題に取り組む	離席する	先生から追いかけてられず、冷静な言葉掛けしか受けない

好きなことができるので、(B)は増加

好きなことができるので、(B)は増加

好きなことがなくなる(得られない)ので、(B)は減少

子供たちの問題行動に変化がない場合は、このようにABC分析を利用して対応を見直すことで、解決の糸口を発見することができます。ABC分析を行うときは、普段から子供の行動を記録に取り、問題行動が起きやすい場面と起きなかった場面を比較することも大切です。問題行動が起きなかった場面には、起きなかった理由やその時の子供に適切な支援があったと考えます。また対応について見直す時は、1人だけで行うのではなく、複数の先生方で行うと新しい視点や意見が出ることもあります。是非、お試しください。



対応前



対応後



広島県立呉特別支援学校

担当者:専任教育相談主任(特別支援教育コーディネーター) 山田裕一

住所:呉市焼山北3丁目 22-1

TEL:(0823)33-0300 FAX:(0823)33-0308